

感染症情報 6月3日～9日

府下小児科196医療機関(堺市19)から

①手足口病	1,436例	(堺市 147例)
②感染性胃腸炎	1,091例	(堺市 87例)
③溶連菌感染症	873例	(堺市 117例)
④ヘルパンギーナ	206例	(堺市 10例)
⑤咽頭結膜熱	164例	(堺市 14例)

府下304医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 40例(堺市 3例)

報告数による順位。前週比7.1%増の4,053件であった。手足口病が府下で20%増、堺市で前週114例→今回147例であった。大阪府の定点あたりは6.11→7.33、堺市で6.00→7.74となり、大阪府では9ブロックで警報レベル開始基準値5を超えている。コクサッキーウイルスA6型が優位に検出されているとある。感染性胃腸炎が府下で前週比2%減、堺市で前週109例→今回87例。溶連菌感染症が府下で9%増、堺市で前週94例→今回117例。定点あたり、大阪府が4.45、堺市が6.16であった。ヘルパンギーナが府下で25%増、堺市で8例→10例であった。咽頭結膜熱が府下で2%減、堺市で前週10例→今回14例であった。

基幹定点だけが報告するが、マイコプラズマ肺炎が5週連続で10を超えている。大阪府が11例、うち堺市が3例であった。

インフルエンザが府下で前週48例→今回40例で前週比17%減であった。堺市で前週1例→今回3例であった。

府下304医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 724例(堺市 92例)
大阪府定点 2.38 堺市定点 3.17

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
24	42	27	112	86	48	64	106	67	82	66	724

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前回664例→今回724例で9%増、定点あたり2.19→2.38。堺市で前週79例→今回92例は16%増、定点あたり2.72→3.17となった。

麻疹や風疹の報告なし。